

道

八代中学　八代高女　八代高校

八高同窓会会報 第11号

- 写真で振り返る平成の八高
- 対談 同窓会長・八高校長
- 令和元年度 大同窓会報告
- 各支部・地区同窓会だより
- 各学年同窓会だより
- 八高時代の思い出
- 頑張ってます
- 熊川みゆさんデビュー
- 大学生紹介
- 八高NOW
- 母校だより
- 学年同窓会のご案内

熊本県立八代高等学校同窓会

令和元年11月30日発行

写真で振り返る八高 平成のクロニクル

～30年間の卒業アルバムから～

今年の5月より令和という新たな時代に突入しました！
巷では平成あるある特集がメディアで盛んに取り上げられましたね！
私たちの愛する八代高校の平成時代とはいかなるものだったのか？
それでは早速30年間の卒業アルバムから思い出の写真をピックアップ！






































平成 元年	平成最初の卒業式、入学式
平成 2年	自転車置場完成
平成 4年	1学年より1学級減となり、405名（9クラス）
平成 8年	100周年記念ブロンズ像完成
平成 10年	体育館竣工
平成 11年	修学旅行中国へ
平成 12年	ハンドボールコート整備工事竣工
平成 13年	1学年定員320名（8クラス）に
平成 15年	スタンド及び周辺改修工事竣工
平成 18年	110周年記念八高緑化事業
平成 19年	1学年定員280名（7クラス）に
平成 21年	八代中学開校
平成 21年	広報誌「道」第一号発行
平成 22年	第二体育館、技術棟竣工
平成 23年	1学年定員240名（6クラス）に
平成 28年	120周年
平成 28年	熊本地震発生
平成 29年	東大3名合格
平成 31年	平成最後の卒業式、入学式



対談

八高同窓会 会長 村山 忍
八代高校 校長 和久田 恭生

あの頃、僕は若かった
～僕らの青春暴露話～

去る7月9日、八代高等学校校長室にて、和久田校長と村山同窓会長による対談を実施しました。

テーマは「青春暴露話」。八高ツートップのお二人にも隠された若かりし日の青春ストーリーがありました。

お二人はどんな学生時代を過ごされていたのでしょう？

和久田　運動が苦手だったので、体育の授業が苦しかったですね。泳げないし、走れないし…。水泳や長距離走が午前中にあると、気分が悪くて昼ご飯を食べられないくらいでした。今、校長として生徒には部活をしなかったことへの後悔があるからです。私は自分のできることをしようという想いに至り、勉強を頑張りました。大の苦手の長距離走大会では、ズルをしてショートカットしようとコースの近くの友達の家で時間調整をしていたところ、出口に担任の先生が待ち構えていて、怒られました（笑）。授業中は、先生が板書をしている隙に隣や後ろの人と座席を交換しながら教室を抜け出したこともありました。

村山　授業を抜け出すのは得意でした（笑）。しかし、1年生の頃は物凄く真面目だったんです。クラス委員になって、結局3年生まで委員をやりました。席替えを担当していて、廊下側の一番後ろが自分の指定席。もちろん、抜け出しやすいように（笑）。勉強はあんまり頑張らなかったせいで、中学校までは課外と授業で十分だったのに、高校は崖を滑り落ちるように成績が下がりました。それでも数学が得意で、友達に予想問題を指導したり、追試は友人の代わりに受けたりもしていました。JRC・生徒会執行部・コーラス部をやっていて、たまにはバスケット部にも顔を出していました。通信簿は音楽だけは5、あとは2でした（笑）。

気になる女子生徒や、初恋の人についてお聞きしたいのですが。

村山　1年生の時に合唱部に綺麗な子がいて、それで合唱部に入部しました（笑）。熊本城の二の丸公園にみんなで行った時に彼女と隣同士で歩いたのが一番の思い出です。異性に関心が強く、3年生になると2つ下の新1年生のクラスへ学校生活についての指導に行っていたので、そこで可愛い子はいないかなと調査していました（笑）



校長先生

和久田　私は村山さんほど活発ではなかったですね（笑）。憧れていたのは同じ中学校出身だった人。とても爽やかな人でした。同じ八代高校へ進学しましたが、自分から行動を起こすとかできるようなタイプではなかったですね。体育祭のフォークダンスでも残念ながら一緒に踊った記憶はありません。

当時、みなさんは早弁されてましたか？

和久田　ミカエル堂からシュードーナツが売店に届いていました！　小遣いがある時は、昼休み前の休み時間に買って食べていました。

村山　早弁は2時間目の休み時間くらいに既に食べてしまう人も。中には、授業中に食べている友達もました（笑）

夕方になるとお腹空いてませんでしたか…？

村山　夕方まで学校にいませんでした（一同爆笑）

最後に、現役の学生の皆さんへ、メッセージをお願いします！

村山　私は成り行き任せで怠けてしまい、くだらない高校生活を送ってしまったと思っています。勉強も真剣に取り組まなかったので、八高生の皆さんには是非そうならないようにして欲しいと思っています。実は、学生時代を今とても後悔していて、夢にも見るほど。きっと死ぬまで後悔するのではと思っています。遊んだことも身になっているとは思いますが、やはり学生時代、努力した人が一番素晴らしいと今感じています。

和久田　まずは何か打ち込めるものに思い切りチャレンジして欲しい。私も苦手なものは沢山ありましたが、何か一つでも夢中になって力を注げるものがあればいいと思います。できることなら色々なことをやってみて、高校生のうちに幅を広げてみて欲しい。それが生きる力へと繋がります。成人年齢が18歳の時代になるので、高校を卒業したら自分で判断ができて、自立していけるようにならないといけない。高校の時は沢山失敗していいので、その中から自分の力を蓄えていって欲しいと思っています。

貴重なお話を、ありがとうございました。



村山会長

令和元年度　八代高校・八代高女・八代高校　大同窓会

「道～これまでの、そしてこれからの～」

全国の同窓会支部からも含め500人もの同窓生にご出席いただき、大同窓会が8月24日、八代ホワイトパレスで盛大に開催されました。

新たな『令和』となった節目の記念すべき年。テーマは「道」。これまでの歴史を次世代へ継承していくとともに、これからの未来について、世代を超え、語り合う場となりました。

総会

八代高校同窓会総会は、村山忍会長、和久田恭生名誉会長（八代中学・八代高校校長）挨拶の後、来賓を代表して6人の皆さんに挨拶を賜りました。

役員体制、行事報告、会計決算報告、監査報告に続き、今年度行事予定、予算案が承認されました。



村山同窓会長挨拶



記念講演会

「緩和ケア」―苦痛なく過ごすために―

(独)国立病院機構熊本再春医療センター・腫瘍内科医長　浦本秀志氏（高37）

がん患者の現状と、鎮痛剤に対する正しい理解が必要であること、また、医療現場では、患者の痛みやつらい身体的苦痛を和らげるだけでなく、精神的苦痛や、死への恐怖など、様々な痛みを対象とし、他職種が連携してチームで緩和ケアを行っていることをお話いただきました。



「救われる」とは何か？
―「道」としての仏教―

大法寺・住職　大松龍昭氏（高37）

「道」とは、目の前に立ちはだかる様々な障害を乗り越え、人としてより成長していく歩みであり、それが人生と云われます。校歌「道」の作詞者・耕治人さん（八代市出身の詩人・小説家）が自らの体験から「辛苦を越ゆる」という歌詞へ込めた、私たち後輩へ繋ぐ思いを説かれました。



懇親会

八代高校・八代中学合唱部32人による、八代高校校歌「道」など3曲の清々しい合唱に続き、稲村同窓会実行委員長の開会宣言で懇親会が始まりました。

旧友との再会を祝う乾杯が唱和されると、会場は一気に熱気に包まれ、それぞれ懐かしい話に花が咲きました。

終わりに、来年の幹事学年である高校38回生へ法被の引き継ぎをし、校歌「道」を参加者全員で斉唱しました。



最高齢の先輩方



同窓会年会費・ご寄付
ありがとうございました



心に響く歌声でオープニング

幹事学年同窓会

参加者のお見送りを終え、約80人の幹事学年同窓会を開催しました。今日のために一年前から準備を重ね、皆様に喜んでいただけた喜びを分かち合い、今後の更なる親交を誓いました。



大役を終えて乾杯



未永い輝かしい未来を祈念して乾杯







写真展示「八代中・高女・高校の今昔」

講演会などの様子は、同窓会HPにて動画でもご覧いただけます。

関東地区同窓会

私たち関東地区同窓会は、関東一都六県とその近県の卒業生、旧職員等を会員として活動しています。
会員はおよそ2千4百名で、学年幹事会を開催して運営しております。
活動は「総会・祝宴」「倶楽部活動」等を行っており、ホームページ、facebook等を使い分けて情報交換し、交流の充実を図っております。

総会・祝宴



年に一度の同窓会、平成時代に準備を始め、開催は令和元年9月7日㈯に上野精養軒で行いました。
近年は事前振り込みによる参加費割引が好評です。また関東以外の地域の皆さまもご参加いただけます。
当日はゲリラ雷雨や台風などの心配もありましたが、幸いお天気に恵まれ215名の皆様にご参加いただき、「第一部：総会」「第二部：祝宴」「第三部：引継ぎ・閉会」の三部構成で、大いに盛り上がりました。

●第一部：総会



総会は、開会宣言のあと黙とうを行い物故者の皆さま方のご冥福をお祈りして、関東地区同窓会の勝井会長、八代の本校同窓会の村山会長、県立八代中学・高校の和久田校長にご挨拶をいただきました。
総会にご参加いただいた方、会費を納入していただいた方などに感謝の意を表し、昨年度会計の報告を行い会員の皆様にご承認いただきました。
総会の最後は講演で、35回の松山さんによる講演で『国内海外のインフラ災害とメンテナンスについて』の題で写真画像を交えて30分ほどの話を聞いて、祝宴に移りました。

●第二部：祝宴

祝宴は、還暦を迎える30回卒の皆さんが乾杯担当で、和久田校長にも壇上に上がっていただき「乾杯！」の発声で開始となりました。



『歓談』
歓談は、先輩・後輩入り交じり、ビール、ワインなどをいただきながら、近況や昔話や八代の様子などの情報交換に花を咲かせて旧交を温めました。

『名物ハヤシライス』
洋食系の美味しい料理を色々いただきましたが、ハヤシライスは品のある優しい味わいで大好評でした。元祖は諸説ある様ですが、上野精養軒の林さんが作った説を信じて食べるとさらにおいしく感じます。

●第三部：引継ぎ・閉会



『引継ぎ』
楽しく歓談したあとは、今年の当番幹事（35回、45回）及び来年の幹事（36回、46回）の紹介と挨拶：：来年も楽しくやりましょう。
『校歌斉唱』
続いて校歌斉唱。八代中学、高女、高校の校歌を皆で歌って、会場全体で盛り上がりました。
最後に　若手メンバーによる万歳三唱で締めて、また来年の再会を誓ってお開きとなりました。
ここ数年、出口で皆さんに八代から取寄せた「どら焼き」をお渡ししています。その際、幹事に「お疲れ様！又来るばい！」との声掛けを頂き、今後の活動の励みになっています。





倶楽部活動

会員の有志の皆さんで集まって、ゴルフや各種観戦・鑑賞会、飲み会などをやっています。

『ゴルフ』
八高関東地区同窓会ゴルフコンペは、年1～2回開催し皆で持ち寄った商品を分け合う楽しいゴルフです。facebook等で募集して10名程参加されています。今年は11月15日に筑波東急カントリークラブで開催予定です。お気軽にご参加ください。(^_^)v

『各種観戦・鑑賞&飲み会』
任意でLINE、facebook等で呼びかけて、お芝居を観たり、スポーツ観戦、花見などに行って、帰りに居酒屋さんでやっちろ弁トークなどを楽しんでおります。写真は新年会と称して新宿に集まり飲んだ時のモノです。(^O^)/





通信・連絡

関東地区同窓会のホームページ「八高関東どっと混む」は、総会の案内、写真のダウンロード、各種報告事項などを掲載しております。
「http://www.85kantou.com」にアクセスしてご覧ください。
また、各種活動のお知らせや写真などは facebook「https://www.facebook.com/85kantou/」に随時掲載しております。
関東地区の総会・祝宴や倶楽部活動は関東地区以外の方もご参加いただけます。情報等はホームページや facebookをご覧いただき、ご希望がございましたら、お問合せください。

広報担当　立居場誠治（高29回卒）

関西同窓会

私たちの関西同窓会



県人だより
八代高関西同窓会総会
1日、大阪市内で約100人が出席してあった。宮崎正郎会長が、「八代・天草架橋を促進する」という中村博生八代市長のメッセージを紹介し、早期実現に向けての請願署名を呼びかけた。同窓会本部の村山忍会長が会報誌「道」作成などの活動状況を報告。同窓生で弁護士の遠山大輔さん、新村守さんによる相続についての対談もあった。
（2019年6月4日 熊本日日新聞）



「大和路ハイキングの会」
奈良の古道を歩いています・・・
池田　治（高10回卒）
「明日香村に咲く彼岸花を見に行こう～」と軽い気持ちで始まった「大和路ハイキングの会」も回を重ねて25回になりました。今では訪問地を決める企画時には、古都奈良のボランティアガイド植田信也氏（高14回生）にもアドバイスを求め、本番での無事故のために、入念な下見の試歩も怠りません。例会は春、秋の年2回開催で、春は4月の第1日曜日。秋は11月の第2日曜日。雨天決行です。解散後は反省会を兼ねた懇親会。1杯のビールで足の疲れが吹き飛びます。参加者は八代東、八代工、秀岳館、水俣高からと多種多彩。これからも奈良の古道を歩いて、古代の歴史と文化を満喫します。

旧八高校舎への憧れ
森本えり子（高22回卒）
八高を卒業して早50年になりました。楽しい学生生活でしたが、今でも一つだけ残念なことがあります。それは現在八代市役所のある松江城町の八高旧校舎で学生生活が送れなかった事です。私の2、3年先輩から現在の永碇町の校舎に移転したのでした。
私は八高と同校区の幼稚園から中学までを卒業し、又、家族、親戚ほぼ全員八高卒業で、事あるごとに話を聞いていたので蔦の絡まるあの3階建ての校舎があこがれでもあり、当然行くところだと子供心に決めていたのでした。
関西同窓会に参加し、諸先輩方とお話しすると「あたは新しか校舎の卒業ね、昔の校舎はよかったばい」と懐かしそうに話されるのを聞くと今更ながら羨ましく思います。
でもその当時の校門正面にあった蘇鉄が今でも現在の八高玄関前で八高生やOBを迎えてくれるのはうれしい限りです。

私の周りのおもろい人達
藤田生美（高32回卒）
（以下、敬称略、あくまでも個人の意見です。）
池○ヤ：穏やかで年齢を感じさせないスタイリッシュな紳士。橋○：まるいお腹でころころした感じ、バイタリティに溢れ、年齢を感じさせない。宮○：こちらもまるいお腹。やっちろ弁で気配りある挨拶は、時に長いが可愛いおっちゃん。川○：小さい身体に注入される大量のビール、いったいどこに？　会議の議事録はバッチリ！　岡○：ご夫婦で歌が上手い!!　兵庫県人会でもご活躍中。木○：そろそろお仕事卒業？　もったいない気もするけど、人生楽しく生きるのも大切ですよね。大○ク：次期会長候補！　お腹も引き継ぐ勢い。田○：同期の中で、影のいやいや表の幹事長？鋭いご指摘で同期会が動く。松○：八代からの単身赴任。いきいきのびのび～。息子さんは、男前のDr。新○：若いのに、仕事、ライオンズクラブ、八高同窓会事務局長と多忙。飲みすぎに注意！　山○：お酒を飲むと真っ白なお顔がタコのように真っ赤っか！　村○：幹事会ではいつもちょこんと座っている。笑顔が素敵。吉○：定年退職後に大阪へ。やっちろ弁での漫談風の話が面白い。池○ォ：いつも橋○さんの横で補佐役。弟さんへの兄弟愛が素敵。久○：笑顔が心和むおじ様。○屋：何度もご病気をされているが、幹事会では元気に復活！　○岐：内科Dr、おごりがなく優しい。高○：音楽が好きで上品。大○ュ：美人なのに気さくで優しい。○上：大人しい日本女性。喜○：歌がめっちゃ上手い！　加○：居酒屋課長！　いえ、ホントに課長になりました。牧○：今、マラソン頑張ってる？三○：孫ができ、阪神ファンにするのかな？　遠○：凄腕の京大卒の弁護士さん。櫨○：関西同窓会唯一の同級生で、高校時代同じ下宿。水○：最近、欠席で淋しいです。
えっ？　私？　会議中にいつも寝ているおばば（眠り姫？）です。

福岡支部だより

令和元年（第30回）八代高校同窓会 福岡支部総会の報告

令和元年7月6日、記念すべき第30回福岡支部総会が福岡市博多区の八仙閣で開催されました。福岡支部総会は、平成2年の第1回総会以来毎年継続して開催されており、令和に改元された今年めでたく第30回を迎えました。

総会が開催されるこの時期は、福岡市内は博多祇園山笠の真っ只中にあり、街は活気に溢れています。しかし、近年は、豪雨により総会の開催が危ぶまれるような年もあり、今年も直前まで熊本県や鹿児島県では避難勧告が出されるような状況で大変心配いたしました。



当日は幸いに天候も持ち直し、故郷八代から村山忍八代高校同窓会会長、和久田恭生八代高校・中学校長、渡邊亮一同窓会事務局長、また、熊本支部の中西雄一会長、宮崎公一熊本県福岡事務所長を来賓としてお迎えして、総会を開催することができました。当日の出席者は88名、今年の当番幹事は昭和52年（第29回）卒業生で13名が参加して会を盛り上げました。

総会では、今回新たに作成された八高綱領旗が佐藤好助前会長から支部に寄贈され、辻本章会長に手渡されました。

総会後のイベントでは、両親が当番幹事の同級生で、八代にゆかりのある落語家桂伸三（かつらしんざ）さんの落語が披露され、会場は笑いに包まれました。懇親会では、再会を喜び、笑顔で語り合う姿が各テーブルで見られました。また、恒例のお楽しみ抽選会は、今年は参加できなかった昭和56年卒秋山幸二さんのサイン入り「鷹の祭典ユニホーム」も提供されるなどして大盛況となりました。



落語家　桂 伸三



佐藤前会長



辻本会長



くまモン
トートバッグ

今年は、第30回を記念した八高同窓会ネーム入りくまモントートバッグを作成し、参加者の皆さんにお渡しすることができました。来年の再会を約束して同窓会総会は幕を下ろしました。

令和元年度同窓会当番幹事
昭和52年卒代表　岩見　徹

八代高校（八中・八高女）同窓会

2020年（第31回）福岡支部総会のご案内

昭和53年卒幹事が準備して皆様をお迎えいたします。皆様と思い出を語り、親睦を深めたいと思います。ぜひご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。7月の福岡は山笠一色です。お櫛田さんをはじめ、飾り山や、博多の町並みを見学しての参加をお待ちしております。

八高同窓会福岡支部 会長 辻本 章

日 時：**令和2年7月4日**（土曜日）
午後3時～6時（受付2時30分～）

場 所：**八仙閣 本店**　福岡市博多区博多駅東2丁目7-27
電話 092−411−8000

福岡支部事務局 礒部和之　mail: kaz10011204@gmail.com



お楽しみ抽選会

ブログのご案内

blogタイトル：八代高校同窓会福岡支部
URL：http://hachikoufukuoka.exblog.jp/

熊本市支部だより

今年の夏も暑い日が続いた。9月になるが、日中はまだ暑い。「どうにかしてくれ」と叫びたくなるほどだ。残暑厳しい日が続くが、同窓生の皆さんの活躍を期待します。

野球も夏の甲子園も終わり、秋季大会が始まった。甲子園には行けなかったが、最近の大会では、頑張っている。目指せ甲子園！がんばれ八高生！現役生には負けてられない。がんばれ同窓生！先日、たまたまテレビをつけたら八高生がクイズ番組にでていた。最後まで見れなかったので、結果はわからないが、ここでも頑張っていた。

今年は、平成から令和へ元号が変わった。平成は災害が多かった。令和になっても豪雨災害、台風災害と続いた。温暖化のせいか自然は容赦しない。災害が起きた時の備えも重要である。災害にあわれた同窓生の皆様にお見舞い申し上げます。

令和元年9月7日に24回生が、NTT西日本くまもとで「第10回青春ソングの集い Folk1972」コンサートを行った。





第10回 青春ソングの集い Folk1972コンサート





24回生 同窓会



約120名が聞き入っていた。初回は何十名だったらしい。私の同級生だが、いつまでも青春ソングを歌い続けてほしいものだ。急速にデジタル化が進む中、青春ソングを聞くと心が癒される。その後、24回生の同窓会をスターライトで行った。約30名が参加した。2次会まで同じ場所で行った。一人ひとり現況報告などを行い、歌や踊り等で盛況に終わった。高校時代は誰さんを好きだったけど告白できなかったなど、恋愛の話が一番盛り上がったかな？

さて、今年は熊本市支部の同窓会はないが、今年の9月から来年の第20回同窓会に向けて始動する。第20回となる熊本市支部同窓会の当番幹事は、昭和52年卒業（29回生）と昭和53年卒業（30回生）である。29回生、30回生の方々は、ご協力お願いします。当番幹事の皆さんは、大変だと思いますがよろしくお願いします。9月7日㈯に、第19回同窓会の当番幹事代表と、今回の第20回同窓会の当番幹事方々と引継を居酒屋鳥亭で行った。第19回の当番幹事が、企画したこと、問題点及び注意することなど引き継ぐ。会場、会費等も意見がだされた。とにかく若い同窓生の皆さんに呼び掛け、どうしたら参加してもらえるのかを検討していかなければならない。アトラクション、会費等を含め検討し、楽しい同窓会になるように企画する。今年11月30日㈯各学年幹事の忘年会を実施する。来年7月に学年幹事の決起大会を開催する。ここで、若い学年幹事がどれだけ参加するのかがかぎととなる。そして来年10月24日㈯熊本ホテルキャッスルでの同窓会となる。当日近くになりましたら、熊日新聞朝刊で案内します。熊本市在勤在住の方々に限らず同窓生の皆さんは、誰でも参加できます。同窓生の方々の情報がありましたら教えていただけたら幸いです。当番幹事の皆さんが頑張っています。参加よろしくお願いします。

熊本市支部事務局 坂田雅孝（高24回卒）





同窓会当番幹事引継

東海同窓会

令和の世を間近にした4月20日、第5回総会が名古屋市内で開催されました。今年は、節目の年を迎え会員相互の親睦を深める懇親会に加え、校歌「道」にある「あこがれと高き望み」をテーマにした大学生による講演がありました。

講演では、総会出席の先輩たちから「凄い、驚いた」の大歓声が沸き起こりました！

八代高校東海同窓会第5回総会で東海地方の大学で学ぶ八代高校第68回卒の「櫻井里咲」さんと「後藤和佳子」さんに、学園生活や研究内容と将来の夢について自由に語ってもらいました。可憐で華奢な二人の自己紹介が済んだ後、研究内容の講演に入ったとたんに会場の空気は一変しました。

名城大学薬学部で学ぶ薬剤師希望の櫻井里咲さんの講演は「薬剤師は病院からの処方箋を見てその薬の成分・機能を瞬時に判断して、患者さんに的確に説明・提供できる能力が必要です。また、不安をもって訪れる患者さんに対して薬の飲み方、飲み合わせ等についても十分な説明ができる能力が必要です。現在、その能力向上のための研究に取り組んでいます」とのことでした。



「薬局で薬を貰う時にも、勉強のために薬剤師さんに難しい質問をするなど実務経験も積んでいます」との発言には、思わず会場から好感の微笑みが出ました。

「今、話題になっているサプリメントと薬の関係についても研究していきたい」という発言もありました。

「医療現場で役立つ薬剤師、そしてみんなが健康で豊かな生活を送ることに貢献できる薬剤師になりたい」との強い意欲が出ている素晴らしい講演でした。

次の講演者の名古屋大学医学部で学ぶ後藤和佳子さんは「大学の特色ある基礎医学研究や臨床講座・実習などの自由な研究活動や部活動に魅力を感じて入学しました」とのことでした。



大学では「生化学の研究で糖鎖（生体内のたんぱく質や脂質と結合し、細胞どうしの認識や相互作用に重要な機能を果たしている）に関する研究」をしているとのことでした。プロジェクターを使って研究内容を分かりやすく説明してもらいました。

また「大学では混声合唱団に所属して、各地で発表会を行っています」との報告もありました。

ご来賓の田中篤八高副校長と八代からノーベル賞受賞者を出そうと尽力されておられる村山忍本部同窓会会長が終始ニコニコ顔だったのが印象的でした。

関東・関西地方に比べて、八高からの入学者が極端に少ない東海地方の大学で、研究に邁進している後輩の講演を聞いて、参加された皆さんは驚き、嬉しさの余り涙ぐむ人もおられました。

講演終了後には、お二人の夢の実現を願った大きな感動の拍手がいつまでも続きました。



ここまで育てられたご両親とご家族の方々、そして八代中学・高校関係者の皆様のご尽力に改めて敬意を表します。

八代高校東海同窓会
会　長　坂田孝之（高18回卒）
副会長　松田富博（高18回卒）

岡山同窓会

今年は、6月2日に「岡山同窓会創立10周年記念総会・懇親会」として、ホテルグランヴィア岡山にて25名の皆様にお集まりいただき、開催いたしました。本部から村山会長・渡邊事務局長、また、広島・山口・福岡の各支部の会長などにもご出席いただき、故郷八代や八高時代の思い出話などで盛り上がりました。



とができました。心よりお礼を申し上げます。

広島県内には、多方面で活躍しておられる同窓生が数多くいらっしゃると思います。この同窓会の輪がさらに広がり、より多くの同窓生が集えるような会にしていきたいと考えています。

2年後の令和3年には、広島県同窓会が発足して10年の区切りの年を迎えます。中国地方の同窓会組織の中では、最も若い同窓会組織ですが、岡山、山口両県とともに、八代高校同窓会を盛り上げていきたいと思っています。また、同窓会組織のない、鳥取県及び島根県の同窓生の皆様や四国地方の皆様にも、都合が合えば、これら三県のいずれかの同窓会にもご出席いただければと思っています。

広島県内や中四国にお住いの同窓生の皆様で、当同窓会に興味をお持ちの方は、一度問合せをしていただければと思います。よろしくお願いします。

【問合先】
〒738-0036
広島県廿日市市四季が丘四丁目六-一四
村田 栄治（高28回卒）
電話・FAX 0829-88-9211
e-mail edd6480@gmail.com



今回は、プロジェクターを用い、10周年を記念して「県内在住者有志の集まり（S54年）～現在まで」を「八高岡山同窓会の40年」として紹介、若かりし頃からの歩みを皆様に懐かしく思い出して頂きました。また、江島さん（18回卒）と澤江さん（22回卒）のハーモニカとギターの演奏に加え、「旧中学校校歌」と「高校校歌」を全員で斉唱し、和やかな雰囲気の中、閉会することができました。

毎年1月には新年会を開催、新年の挨拶とともに一年間の行事についても話し合っています。また、7月15日には江島幹雄氏（20回卒）が音楽監督と常任指揮者を務めるアンサンブル早島による「災害復興支援チャリティーコンサート」を鑑賞に出かけるなど、八高卒業生が関わる数々のイベントにも参加しています。

今後も、発足から今日まで岡山同窓会の発展に情熱を注いでこられた吉田高範前会長の意思を継ぎ、久保田新会長のもと、岡山同窓会を盛り上げていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

江村清一（高20回卒）





広島県同窓会

広島では、様々な会合の場面でも広島カープの話題が必ずと言っていいほど出てきます。サッカーチームのサンフレッチェ広島や、最近では熊本と同じ二部リーグでしのぎを削っているプロバスケットチームのドラゴンフライズもありますが、やはりカープの話題にはかないません。

それは、9月28日㈯に開催した我々の同窓会でも同じです。同窓会の開催時点では、セ・リーグ四連覇を逃しただけではなく、クライマックスシリーズ進出も確定していない中で、どんな話で盛り上がるのだろうかと思っていました。

今回の同窓会は、例年、本部同窓会の開催日の翌週の土曜日に開催することが多かった中、9月下旬の開催ということで、参加者は少なくなりましたが、家族的な雰囲気で盛り上がりました。

大いに盛り上げていただいたのは、ゲストでお招きしたKAB熊本朝日放送の舩津真弓様（高48）でした。舩津様には、最近の熊本や八代の様子を分かりやすく簡潔にお話しいただき、参加者から色々な質問も受けていただき、時間があっという間に過ぎました。参加者のアルコールの量も例年のスピードを上回り、皆さん熊本・八代の今を知ることができ、大変上機嫌でした。おかげで、カープの話題も鳴りを潜め、参加者皆が、故郷への思いを再確認することができました。舩津様には紙面を借りてお礼を申し上げます。

また、アトラクションでは、今年も広島を中心にシンガーソングライターとしてご活躍の三輪真理さん（高36）に歌と演奏をお願いしました。三輪さんは、ご自身のオリジナル曲をはじめ、故郷にまつわるリクエスト曲、そして参加者の皆さんが口ずさめるポピュラーソングとバラエティーに富む選曲で、熱演していただきました。参加者の皆さんは、三輪さんの演奏と歌声に聞き入っていました。

例年、会の最後に参加者で合唱する校歌も三輪さんの伴奏で気持ちよく歌わせていただいています。三輪さんには、ご多忙の中、毎回快く同窓会の場での歌と演奏を引き受けていただき、しかも、手弁当で、機材も自ら持ち込んで準備をしていただいています。本当に感謝しかありません。

当同窓会には、来賓として、本部同窓会会長の村山様、山口県同窓会会長の山下様、岡山県同窓会事務局長の江村様にもご出席をいただきました。皆様方にも、同窓会の状況や、近況報告などをお話しいただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。



山口県同窓会

第8回　山口県同窓会を平成30年12月15日に開催致しました。「平成最後の……」と叫ばれたこの年は災害の多い年でした。私達の山口県同窓会も予定していた10月が台風接近の予想と重なり、余儀なく12月師走の慌ただしいなかに変更し開催することになりました。

年末のお忙しいなかでご出席頂いた方々に感謝しながら、少人数ではありましたが楽しく寛いだ時間を過ごしました。今年も23回卒の山田格さんのギター演奏とオブザーバーで参加して頂いたジャズ歌手の伊藤麗奈さんが雰囲気を盛り上げてくださいました。ビートルズの楽曲から「天城越え」まで、初対面とは思えないほどの息の合った演奏と歌声を楽しみました。「それでは!!」と出席者からも次々に歌が飛び出し、和やかに懐かしい会話も弾んで、予定時間を越えたのも気づかないほどでした。



やっと校歌斉唱と万歳三唱を終え、名残惜しい思いを残しながら　来年は早めの開催に向けて準備することを約束して終了しました。来年こそは、一人でも多くの同窓生に参加いただけるよう願っています。

山口県同窓会事務局
中村裕子（高21回卒）

大分地区同窓会

平成30年10月20日　大分地区八高同窓会を和食処松風にて開催しました。参加者は4名、来賓として八高同窓会の村山忍会長に参加いただきました。少数ながら、皆さんの笑顔と声が飛び交い、八代の雰囲気に包まれ、八高時代の若さを体に取り戻した感じでした。また、益永先輩からは、自家製手作り生のピーナツをいただき、思いもかけないお土産に全員喜びの声を上げたところです。次回は、もう少し参加者が増えることを楽しみにして散会しました。

なお、年に一回の集会では少し寂しいのではないかということと、会の活性化の一助になればということで、このたび、大分同窓会会報なるものを発刊することになりました。会員間のつながりや八代に関する情報交換の場にしようと、とりあえずは不定期便で出発したところです。次号以下の原稿を、メールでも送って頂けるように、アカウント（oita85@tsm.biqi.jp）を設けました。テーマは限らず、ちょっとした身近な情報、共有できる情報等の投稿を待っています。

事務局　松本宏次（高15回卒）

長崎地区同窓会

「ご当地クイズで盛り上がり！」

長崎地区同窓会事務局
徳永哲郎（高27回卒）

平成31年2月2日㈯、第3回八代高校長崎地区同窓会を開催。参加者13名。本同窓会は、会員数64余名の小所帯ではあるが、3年連続の皆勤賞の方も多く、年代を超えて和気あいあいの雰囲気の中、楽しいひと時を過ごしている。惜しむらくは、一昨年度の参加者20名を下回ったことか？　今年は、20名超えをめざしたい！

今回は、新企画として、「八代、ご当地クイズ」を事務局で準備した。長年、八代を離れている方も多く、故郷八代に思いを馳せていただくことがねらいである。その様子を簡単に紹介したい。



①業者調査による学力が熊本県9位にランクされていること。・・・「まさか？オイ達の頃はもっと上位だった？」と嘆きの声が！

②八代市の花は、「桜」であるが、八代市の「市木」は何？　・・・誰も答えられない中、元農業高校教師のY氏が「晩白柚」と即答！　周囲から「さすが！」と感嘆の声！　市民の花として「やつしろ草」があることも、このとき初めて知りました。

第2回　地区・支部代表者 意見交換会

令和元年度の八高大同窓会に先駆け、午前11時宮崎財団大ホールにて、第2回の地区・支部代表者意見交換会を開催しました。

出席者に同窓会長の村山忍さん、副会長の中尾孝子さん、関東地区同窓会会長の勝井梅子さん、東海同窓会副会長の松田富博さん、関西同窓会長の宮崎正郎さん、岡山県同窓会長の久保田壽一さん、広島県同窓会会長の片山茂光さん、山口県同窓会副会長の重田千恵子さん、福岡支部事務局長の磯部和久さん、熊本市支部会長の中西雄一さん、鹿児島県同窓会長の福山成美さん、長崎地区同窓会事務局の徳永哲郎さんを迎え開催しました。

各地区・支部の活動報告の後に「同窓会に若い世代をどう取り込んでいくのか」というテーマで意見交換を行いました。

東海地区では、総会に現役の大学生を講師に迎え、「学生生活の現状と将来の夢」について語っていただき、大変好評を得、次回からの若い世代の総会参加に道を開いたそうです。

関東地区総会では、毎年会報を発行していること、総会の会費を学生は無料とし、20代の会員は半額として、若い世代の参加を呼びかけました。



関西地区ではなるべく、若い人を同窓会の役員にすることに努めておられ、長崎地区では、八高や八代のことをクイズにしたら参加者に大好評だったそうです。

その他各地区から活発な意見が出されましたが、残念ながら開催時間1時間ということで、さらに進んだ話はできませんでした。次年度は意見交換会の時間をもう少し取ろうということになりました。

鹿児島県同窓会

第4回 鹿児島県同窓会開催報告
（平成30年11月18日）

あつく絆を感じた一日

今回は総会だけに終わらず講話を入れました。NHK鹿児島放送局アナウンサーの有田雅明さん（八高平成5年卒）にお願いしました。今、進行中の大河ドラマ『せごどん』について「ここだけの内緒の話ですが・・・」という制作中の裏話です。鹿児島が舞台のドラマは「翔ぶが如く」（司馬遼太郎）「篤姫」（宮尾登美子）が取り上げられ、多くの人に鹿児島について関心を寄せてもらいました。丁度、「篤姫」の放送中に、山梨、新潟、金沢を家内と旅行した際、鹿児島からと言うとあちこちから声をかけられ、いろいろなことを尋ねられたりして嬉しい気持ちになりました。さて、前2作は西郷と大久保の対立を描く中で、近代日本に関わった志士の群像であり、一方は幕府に寄り添いながら、明治に橋渡しをした作品でした。原作『せごどん』（林真理子）は戦前に編纂された鹿児島県史の流れに齟齬しない形で書かれていますが、西郷はご承知のように、波乱万丈の生涯でした。したがって関わった人々も百姓、町人から上級武士、幕府、貴族・朝廷に至るまで多岐にわたり人物西郷を語っています。それらの多くが史実となって厳然として存在します。誠に特異な人物でした。

これらの多くの材料から視聴者にどの部分を切り取っていくか、脚本家にとって一場面を作る上で頭が痛かっただろうと察しがつきます。場面を作るごとに時間をかけて検証し、検討を加え議論し、作品が構成されて行く過程の話です。有田さんが身近で見たこと、聞いたこと等をアナウンサーというプロの話術で出席者一同を引き付けた事は流石だと思いました。それから後の宴会は、各自が自己紹介や近況、趣味等を愉快に話し、席を移しながら酒を酌み交わし、楽しい一日となりました。

会長　福山成美（高10回卒）





各学年同窓会だより

高1回卒　昭和24年卒
「卒寿の祝」同窓会

旧制八中48回卒と新制八高1回卒の同窓会を本年4月2日「卒寿の祝」を兼ねて八代グランドホテルで開催した。参加者は11名で米寿のときより減ったが、東京や福岡からも参加してくれて感謝している。我々の世代は小学校入学時は支那事変が始まり、中学入学時は大東亜戦争の真只中であり、戦争と共に青少年期を送っている。中学3年からは軍需工場に勤労動員され、一学期丸々授業なしの学生生活であった。戦中戦後の激動の時代、食糧難の時代に生きてきた我々が卒寿まで生きようとは夢想だにしなかった。戦後の学制改革により中学と高校に分かれたが、同窓会は「神さび会」と称して合同で行っており、今回は25回目となる。卒寿を迎えた我々にとって最大の感慨は勤労動員中に経験した機銃掃射の恐怖と戦後70年間戦争のない平和な時代を経験した悦びである。残り少ない人生ではあるが、平和の更なる継続と母校八校の益々の発展を祈るものである。

満田　豊



高3回卒　昭和26年卒
からいも会米寿祝賀会

八十八歳米寿お祝いを、令和元年の最初の月本年5月22日にセレクトロイヤル八代で開催した。どれだけ出席するか心配されたが、40名が集まった。車椅子で出席した者もいた。沖縄から1名、関東からも4名が参加した。超高齢者にしては集まったほうだろう。

私たちは、戦争真っただ中の昭和20年4月に旧制八代中学・八代高等女学校に入学した。その年の8月に終戦。学制改革により持ち上がりで高校となり26年に卒業。両校が合併して男女共学、海外からの多くの引揚者の編入など、大きな変革を経験した。

食糧難で学業は中止し、宮地の石ころだらけの山を汗水流して耕し、「さつまいも栽培」をやらされた。このきつい作業に〝懐かしさ〟と多少の〝恨み〟を込めて、私たちの学年は「からいも会」と称している。

「からいも会」の集会は、卒業以来過去13回開催した。出席者数は、従来は百人前後だったが、今回の第14回目米寿お祝い会は前述のように半数以下の人数だった。今回は、残念ながら24名の新たな逝去者が判明した。また、存命者でも、足腰などが不調で出席できない者が多数いた。とくにここ数年で、皆の体力が急激に低下したように感じた。なお、〝オレオレ詐欺〟予防装置を設置しているためか、連絡しようとしても電話が繋がりにくく出席勧誘に苦労した面もあった。



私たちは多感な少年少女時代、社会は戦中・戦後の歴史的大混乱のなか、同じ学窓にいて苦楽をともにした。この経験が却って私たちの絆を強くしてくれる。

卒業以来67年が経過して、「乱世」の昭和を、また「災害」の多かった平成を無事に生き抜き、久しぶりに会って元気でいることを喜びあった。すぐ昔の話に花が咲いた。若い時、病気の話は禁句の頃もあった。しかし、この歳になると皆が何らかの体の不調を抱えており、病気の話もオープンだ。

この歳では多少の体の衰えは止むを得ないが、出席者は予想以上に意気盛んだった。最近は健康長寿ブーム。「老年的超越」の気分にも浸りながら、これから先まだまだ長生きしようと励まし合い別れた。

野々口哲朗

高4回卒　昭和27年卒
次回は米寿祝同窓会

私たち「にいなな会」は毎年12月1日を忘年会の日と定めて旧交を温めています。今後開催出来るか分からないが、昨年米寿祝の話が出てアレ！　まだ先の事と全く考えていなかったが来年多くの人が米寿を迎える。傘寿祝から八十路を歩き始めたのがついこの前のように感じる。まさに光陰矢の如し。歳は重ねても「にいなな会」は絆が強く一同に相集い米寿祝同窓会を開催して青春時代に戻り、積もる話に花を咲かせて長寿を祝いましょう。状況が許せばこの機会にぜひご出席ください。

裏表紙に日時等を掲載しているのでご覧ください。案内状は経費の都合で全員には出せませんのでご了承ください。

尚、5月2日までに案内状が届いていない方で出席を希望される方はご連絡ください。折り返し案内状を送ります。

石坂直行



高5回卒　昭和28年卒
熊本市支部同窓会に参加して

今回初めての案内を頂き、おまけに支部会長の中西雄一君の名前を見て、参加しようと体調を整えてまいりました。

受付で中西会長にお逢い出来ますか？とたずねると、すぐに逢うことが出来ました。60何年か前、あの小さく歌のうまかった太田郷幼稚園5組の中西君がそこに居ました。紹介していただいて逢わなければ判りません。一瞬にして、遠い遠い日がよみがえってきて、思わず「雄チャン」と呼んでしまいました。私の中ではあのチビ雄一君しか存在しないのです。

私は5回生28年卒、雄一君は20回生43年卒。当時の卒園写真を渡し、ちょっとだけ話し、忙しい中西君のじゃまをしたらいけないと、控え室で会の始まりを待ちました。

名簿を見てびっくり。2回生S25年、4回生S27年、5回生S28年、各々一人、6回生S29年2名という高齢者組の出席、時の流れをしみじみ感じるひとときでした。

でもこうして何かと参加出来、雄チャンに逢い、ちょっとだけ話せたことなど、60年前の思い出を胸に、あらゆる事に感謝し、会場をあとにしました。
思い出の一ページに残る日になることでしょう。お誘い下さり、ありがとうございました。

小山眞理子（旧姓 小方）

高9回卒 昭和32年卒
生存確認同窓会

元気ですか！ 生きていますか！あれから62年。人生いろいろ。
今からが本番だよ。全員集合同窓会を八代在住の女性の皆さんがお世話をいただき、令和元年5月31日、セレクトロイヤル八代で開催、遠路からの出席もあり、盛会な同窓会となりました。
これで平成29年開催の傘寿同窓会、平成30年、昭和14年生まれの傘寿同窓会開催、そして今般の令和元年の生存確認同窓会開催と3年連続の開催となりました。
これからは、大先輩の「二七会」の皆さんのように、毎年開催（日時・場所等も決めた「同窓会（食事会）」）を検討して、生存確認をしては!!

垣田美彰



高10回卒 昭和33年卒
薄紫色の絨毯の中で・・・

関西三三会主催
令和元年の恒例バスツアーは7月1日、2日に奈良県、三重県を訪問。初日の奈良県は明日香村の石舞台古墳と飛鳥寺で古代のロマンに浸る。二日目の三重県は室生赤目青山国定公園内の青山高原の中に位置する「メナード青山リゾート」へ。
高原の丘陵にゆったりと広がる雄大なハーブガーデン。広さ8ヘクタールの中に300種を超えるハーブが咲き乱れている。一面に広がる薄紫色の絨毯の中で、傘寿を過ぎた仲良し10回生の弾んだ語らい声・・・。
この至福の時間を求めて来年の舞台は京都で。6月22日、23日は妙心寺塔頭の東林院の中庭に咲く「沙羅双樹の花」を愛でに。

橋口敏昭





高13回卒 昭和36年卒
あれから58年 心は今だ 青春！

戦後の混乱期から高度成長への息吹を感じる昭36年春、我々409名は蔦のからまる旧校舎を巣立った。地元に残った者、全国へ進学や就職でふる里を離れた者、各々の実質的な人生のスタートでもあった。そして昭39年の東京オリンピックが基盤となり、日本経済が大躍進すると共に、我々も多様な人生を送ることになった。
私も東京での4年間の学生生活を経て、選んだ〝熊本へ帰る〟との決意は、自分の人生を左右する大きな節目だった。熊本での8年間のサラリーマン生活を経て30歳で脱サラして今の商売を興して47年。すっかりタイヤ屋のおやじ&爺さんになった。
八代へ帰ってみると〝一杯やろうや！〟と言う同級生もいないし、会う機会も少ない。そんな時同級生が転業して居酒屋を開業した。〝皆で応援しようぜ！〟となり、そこが溜まり場となり、定例の毎月13日19時、雨が降ろうが、槍が降ろうが〝全員集合！〟それが13回卒をもじった「13日会」の誕生となり42年。今や我々の心の拠所である。
喜寿を迎えた老若男女が毎月毎月飽きもせず、マイク片手に夜中まで盛り上がる。その中心となる約20名が13回卒の世話事を積極的に役割を果たす。約100名が参加した60歳の「還暦同窓会」、そして70歳の「古希同窓会」。そうなったら、もう先は短いので毎年やれ！ その勢いで73歳ではまだ生きとるバイ！ と「生存確認会」となり75歳では後期高齢者の仲間入りとして「喜寿好麗者の集い」そして今年77歳となり85名が集結して「喜寿同窓会」を開催。会場の八代グランドホテルには、恩師である8名の先生方をはじめ、同期110名ほどが集まり、大いに盛り上がりました。2次会も70名ほどの参加でした。平成最後の学年同窓会を終え、次回令和初の同窓会はいつになるでしょうか!? またみんなで企画します。

成尾善明





高14回卒 昭和37年卒
喜寿記念関西同窓会と四国「ちょこっと遍路」

百周年記念同窓会を担当した14回卒生も、早いもので喜寿を迎える事になりました。関西在住者の肝いりで、9月9日から11日にかけて八代から十数人、全体で24名が参加する喜寿同窓会を神戸で開催しました。大阪空港から貸切バスの待つ新大阪駅に向かう。前日の東京同窓会に出席していた同窓会長の村山忍君、関西組とはここで合流。大阪で最初の世界遺産「仁徳陵」、堺市の「利休生家跡」等を見学した後、少し南下し「恋しくば尋ねきてみよ和泉なる 信太の森のうらみ葛の葉」、文楽、歌舞伎等で有名な陰陽師・阿倍清明ゆかりの「葛の葉神社」を訪ね三七会（14回卒）全員の健康祈願をして頂きました。
各人白狐石（葛之葉姫の化身）を持ち上げ、重いか軽く感じるかで吉兆を占うもので、皆軽かったとの感想で吉でした。ここは八代と縁の深い所で、八代の殿様・松井氏が江戸時代を通じて保有した領地、尾の井町の隣りで、絵巻などものこされています。
バスは夕方明石海峡大橋、淡路島を眼下に見下ろす絶景の地に建つ舞子ビラホテル神戸に到着、楽しい同窓会になった。関西在住の西君山本さんの司会で、宮崎君の歓迎の挨拶。各自近況報告など和気あいあいの会となった。カラオケ、飲み放題の二次会が終わり、上った展望ラウンジからの夜景も素晴らしかったし、翌、朝焼けに染まった全長3911mの明石海峡大橋の神々しい姿に感銘を受けました。
朝食後、明石海峡大橋を渡り一番札所・霊山寺から極楽寺まで歩き、暑い日ではあったが、極楽寺に到着した時はすがすがしい気分になったものです。屋島、高松城を廻り、旅行会として初めて宿坊泊としました。
弘法大使の生まれた善通寺で五時半からの朝行に参加し戒壇巡りなども体験出来ました。その後金毘羅参りを済ませ、瀬戸大橋を渡り岡山吉備津神社にむかう。ここは桃太郎伝説の神社で、鳴釜祈祷と云われる神事で有名である。桃太郎に敗れた鬼を祀る御釜殿があり、鬼の妻と云われる「阿曽女」と呼ばれる女性がお釜にセイロを乗せ、神主の祝詞に合わせ玄米をまくと、ウオーンウオーンと鬼の声が聞こえてくる。その音の大きさ小ささで吉兆を自分自身で判断するのだそうで、私達の祈祷での声は荒々しくなく、穏やかな音色で、平穏な世の中が続くものと判断しました。
岡山駅で解散、八代組は新幹線で、関西組はそのままバスで大阪へ再開を約束し帰路に着きました。三七旅行会は今回の四国の旅で国内全地域を訪ねる事が出来ました。八代での同窓会は11月に開催されます。

学年幹事・柏田忠



高21回卒 昭和44年卒
四四八高会同窓会

私達は平成が終わる直前の4月20日に、卒業50年を記念して同窓会を行いました。卒業10周年から始まり、3年おきに開催しておりましたが、幹事年や還暦などの節目もあり、変則的になっていました。また住所がわかっていても、案内状を希望しない人には、送付しないやり方もとったりしていました。しかし今回は卒業50周年という記念の年でもあったので、住所のわかる人全員に案内状を送りました。結果107名の参加があり、初参加の人たちもいて、大いに盛り上がりました。同窓会費の未払いの人の分を受付でお預かりして学校に送ったりして、母校への思い、同窓生の絆も深まったと思います。またほとんど益正月にやっていたのを、今回4月にしたのが大変評判が良く、今後は3年ごとに4月20日に近い土曜日を選んでやることが役員会で決まりました。なので、次回は令和4年4月23日開催いたします。たまには田舎に帰ってこんね！



高28回卒 昭和51年卒
関東地区同期会報告

平成15年（2003年）に八高関東同窓会の幹事学年となったことを機に、学年代表の有田幸生君を中心に、平成16年に早稲田鶴巻町で本間（旧姓 榊）康子さんご夫妻が経営されている東寿司で毎年2月最終土曜日に開催して今年で第16回となりました。毎年20人前後が集まり、最近は午後5時から9時近くまで、心のこもった料理の数々と美味しい日本酒・豪華なお寿司をいただきながら、賑やかにヤッチロ弁で盛り上がっています。
今年（平成31年）は午後2時から文京区の永青文庫・肥後細川庭園の見学も入れました。永青文庫には「根道核藝」と隷書の扁額が飾られています。道に根（もとづ）きて藝を核（まこと）とす。
同期会や同窓会が本当に盛り上がるのは60歳で定年を迎えたこれからだと思っています。興味と関心・時間と余裕がある方はぜひご参加ください。事務局と同期会メンバーが総力をあげてのおもてなしに努めますよ。

岡村克也



高49回卒 平成9年卒
学年同窓会

2019年1月2日、前回開催より11年ぶりに学年同窓会を行いました。



高55回卒 平成15年卒
55回卒同窓会

1月2日に有志の同窓会を開きました。グループ単位では定期的にありましたが、今回はそのグループをまとめてしよう！と、平崎雄也、中村麻衣、平本理奈、山田真梨子の5名で企画し、30名近くで同窓会を開くことができました。開会当初はよそよそしかったみんなも、お酒が入るにつれて盛り上がり、高校時代に戻った様に楽しい時間を過ごすことができました。2件目もほどんどが参加し、翌日私は仕事初めだったのですが、新年早々二日酔いでの出勤となりました（笑）今後も気軽に開催できればと思います。

高見聡一郎

八高時代の思い出

卒業式の日

高3回卒　**西村　謙一**さん

1951（昭和26）年3月10日、八代は、風も無く暖かく、南国のうららに照れる春の日であった。私は、球磨川の土手道を一人で歩いていた。八代高校の卒業式を終えて、自宅に帰っていたところであった。何と云う爽快な気分だろう。卒業したという喜びもあったが、受験勉強から、解放された喜びが大きかった。私が受験した大学の合否の発表はまだなかったが、もう受験勉強はしなくてよい。そう思うと解放感は広がっていった。土手を歩くと暖かい、早春の空気が心地よかった。遠くに見える桜は散り果てて、土手には若草が萌え出していた。私は、春の空気を充分吸い込んで、土手に寝転びたい気持ちだった。

卒業式が終わって皆、職員室や隣の部屋に集まって来ていた。恩師や卒業生に卒業記念のサイン帳に記入してもらうためである。あまり話したことはないが、遠くから見ていて感じがよい人だと思っていた女性も来たので、私は新しいサイン帳を差し出してサインを頼んだ。彼女はサインしてくれた。私はこれを受け取って、彼女ともっと話をしたかった。しかし、待てよと心のブレーキがかかった。果たして大学には合格したのか。もし合格していないならば彼女は軽蔑するだろう。そう思うと、「お元気で」と云っただけで、私はその場を去った。その時、熊本大学や東京の私立大学は合格発表があっていた。合格した人達は堂々と女性に話しかけていた。



3年生になった時だったと思う。受験希望者は全員屋上に集められ、受験の心構えを数学の先生が話された。「恋愛は絶対だめだ。恋愛などしていたら目的の大学には通らない」と先生は強く云われた。生徒はこれを「屋上の垂訓」と呼んだ。この教訓は実際その通りであった。どんなに、魅力的な異性に出会うとも、恋愛していたら激しい受験勉強は出来なかったろうと思う。

卒業式が終わって球磨川の堤防を一人で歩いて帰り、一寸した心残りはあったが、卒業した喜びが大きかった。こんな解放された喜びはそれまで経験したことがなく、初めて味わった。この時の素晴らしい気持ちは今でも明確に覚えており、この喜びは一生忘れないと思う。

私が受験した大学の合格の通知がきたのは卒業式が終わってから1週間後であった。卒業式の前に発表して欲しかったが、こればかりはどうしようもなかった。

半世紀を超えていても 私の大切な青春の思い出

高20回卒　**成尾　敬三**さん

昭和40年、私達が八高に入学した頃、八代城址に隣接した鉄筋3階建ての校舎には蔦が絡まり、玄関の蘇鉄と共に重厚な雰囲気があった。私達新入生は詰襟の制服に制帽、革靴革鞄、また自由な校風にも憧れを感じていた。その新入生にとって、永碇への校舎全面移転は希望と不安の織り交ざった出来事だった。

昭和30年代頃から八代市の発展に伴い、産業道路を走るトラックなどの車両が増加し騒音問題も深刻になった。加えて、戦後ベビーブーム世代の生徒数増加により、八高移転は不可避だったのだろう。

昭和34年3月の移転改築期成会の結成から昭和40年9月の全面移転まで先生方も相当ご苦労されたようだ。また、生徒達にとっても体育の時間の多くは運動場の整地作業になり、入学時にショックを受けた長髪禁止令と共に今となってはほろ苦い青春の思い出となっている。

さて、八代高校の伝統行事である文化祭と体育祭、ファイナルイベントのファイアストームは松江の旧校舎時代から行われていたという。私の記憶が曖昧で申し訳ないのだが、先輩の話によると永碇の新校舎移転の年はグラウンドや体育館が未完成だったことなどで1年間中止になっていたようだ。「八高百年史」によると、私が3学年になった昭和42年度の「教務日誌」には10月19日～20日まで文化祭、10月22日体育祭とあり、ファイアストームは10月22日の体育祭後のイベントだったと思う。後年、文化祭と体育祭は統一され「八高祭」となっている。



「1968 YATSUSHIRO HIGHSCHOOL」の卒業アルバムにはこのファイアーストームの様子が見開きの写真で掲載されている。

文化祭、体育祭をやり遂げた充足感で満たされ、フォークダンスのオクラホマミキサーやコロブチカ、マイムマイムやジェンカも盛り上がり、廃材を燃やして出来た炎を囲んで笑顔の輪ができた。

写真にはカーライル（トーマス・カーライル　1795－1881）の言葉が添えられている・・

『今も後もこの事を記憶せよ　人生は空夢にあらず。永遠を基とし
　永遠に囲まれてある尊い実在になることを――』

当時、ベトナム戦争の背景もあり、全世界の若者は否が応でもその影響を受けた。その頃、日本のGNPは世界第2位となり政治や文化の高揚期を迎えていた。



「その時代を精いっぱい生きよ」といっているカーライルの言葉のように、燃え上がる炎の先に私たち一人一人の道があった。

体育大会の記憶

高28回卒　**宮田　直美**さん

このごろ、すべての記憶を自分で消そうとしているのか!?　昔のことも、このごろのこともよく思い出せないお年頃になってしまって高校3年生の時の体育大会の思い出を書けと言われても、個人的なことを断片的にしか思い出せないと最初に言い訳をしておきます。

1975年、私たち八高28回生3年生の秋、体育大会がおこなわれました。私たちの頃はひと学年11クラスあり、2つのクラスをペアにして赤・青・黄・緑・橙・紫の6つのブロックに分かれて闘いました。どのクラスがペアを組んだのかよく覚えていません。わたしは8組（女子の多いクラス）で9組（男子だけのクラス）とペアを組んだ紫ブロックでした。

今から、40年近く前のそのころは、各ブロックの総団長は男子・応援団長は男子・副団長男女一人ずつといったそのころならではの男女不平等当たり前の時代で自分もその中にしっかり組み込まれており、自分が副団長になったということに妙に満足していて、疑問を感じることなどありませんでした。今はとても考えられない。現在の八高は、女子の総団長など当たり前のようであります。素晴らしい!!がんばれ現役!

ところで、私たちの頃の体育大会には三つの柱があったと思います。一つ目はもちろん「スポーツの祭典」（陸上競技）、二つ目は「応援」もちろん応援席の看板（美術）を含。三つめは仮装行列です。どれも大切な柱でそれぞれにハマる人たち（得意な人）がいて、いわゆる適材適所の人員配置でそれぞれに燃えていたように思います。私はただ応援のことだけ考えていればよく、私の力ではもちろん陸上競技は論外。応援席の看板の芸術的な絵や仮装行列の企画・準備などはそれぞれの係が責任を持ってやってくれていたように思います。



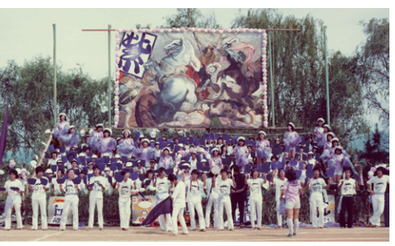
応援団の係として一番印象に残っているのは女子の応援団（よく言えばチアリーダー）の衣装づくりです。紫ブロックということでみんなで紫の衣装をいろいろ考えたあげく思いついたのがセーラー服を紫色に染めようということだったのです。中学生の時の夏セーラー服を持ち寄って我が家の実家の外の釜戸で染料を使って大鍋でぐつぐつ煮て作りました。今考えればよくぞそんなことをしたもんだと自分ながら感心してしまいます。紫色に染めたセーラー服と白の短パンけっこうイケテいたと自分では思うのですが!?　スタイルは別にして。他の団の女子リーダーたちもそれぞれに考えた素敵な衣装だったと思います。

残念ながらよく覚えていませんので写真などを参考に。

応援にも二つの柱があり、一つは応援団員とブロックのなかま全員応援席一丸となって行う全員応援。その練習などで後輩との淡い恋があったとか?なかったとか?もう一つは応援団員の演舞です。どっちも記憶があやふやなのですが、応援団の女子リーダーは応援団必須アイテムのボンボンを持ってそのころ流行りの曲に合わせてダンスを披露するということにものすごく力を使ったように思います。女子のリーダーの中には体操が得意な子がいてダンスの中にアクロバティックな要素を入れたりして、カッコいいダンスになったと自己満足していました。男子の応援団はよくある学ランをきての空手的な演舞ともう一つ白いTシャツに白ズボンで笑いをとる系のダンスをする◎ブロックという演舞があり、そのチームのリーダーを男子の副団長がやっていてなぜかその男子が私の今のつれあいであります。男子の応援団もリーダーの家（今はなき萩原町の実家）に集まって泊まり込みでいろいろアイディアを出し合って応援のために燃えていました。日ごろ使わない脳や体を使って（ホントは何をしていたか?）

以上私の記憶はこれくらいです。超個人的な見解で全体を網羅することはできません。皆さん付け加えをお願いします。

PS　打ち上げは総団長の家であったのですが、女子の参加は認められず（時代ですね）ちらっと家まで行って悔し涙で帰りました。つれあいの話では飲んだくれてトイレで寝たとか?（ピーが入ります。時効かな?）



頑張ってます

宇土市学芸員

高52回卒　**大浪　和弥**さん



加藤清正の研究第一人者

八高52回卒の大浪和弥です。20世紀最後の年、2000年3月に卒業し、静岡県三島市にある「富士山が一番美しく見えるキャンパス」が自慢の日本大学国際関係学部に進学しました。学校に行かない不真面目な学生でしたが、就職を考えた時、興味があった歴史に関わる仕事に就きたいと思い、日本大学を3年で退学し、熊本大学文学部歴史学科の日本史研究室に3年次編入しました。その後、大学院を修了した後、さらに1年大学に残りました。私のわがままで8年間も大学に行かせてくれた両親には本当に感謝です。

現在は、学芸員として宇土市教育委員会文化課に勤務し、文化財の保護行政に携わっています。大学では江戸時代の歴史や古文書学を専攻していましたが、職場では専攻の時代に関係なく、宇土市の歴史や文化財全般を対象としています。また、市民向けの古文書解読講座で教えたり、先の熊本地震で被災した文化財の修復工事や復旧・復興に関する補助金業務も担当しています。

仕事とは別に、10年ほど前から個人的に加藤清正の研究にも取り組んでいます。加藤清正に関する歴史資料（古文書）を収集し、それらを分析することで彼の実像や彼が治めた当時の熊本の社会状況などを明らかにしています。平成24年・25年には、私が研究代表者となり東京大学史料編纂所の一般共同研究として研究を進め、『加藤清正文書目録』も刊行しました。おかげで加藤清正について各地で講演させていただく機会も多く、楽しい日々を過ごしています。



高校時代は甲子園を目指していた高校球児でした。素晴らしい先生方とチームメイトに恵まれ、2年生秋季県大会ベスト4、3年生春季県大会で準優勝という成績を収めましたが、夏の大会はまさかの1回戦敗退。悔しい気持ちと申し訳ない気持ちで学校に帰り、その夜先生方と3年生で平壌園で焼肉を食べたことは今となっては良い思い出です。一方、生来の勉強嫌いから、学業はそっちのけで、学校の成績は下から数えて何番目という体たらく。もっと勉強しておけばよかった何度思ったことか。

今は好きなことを仕事にでき、充実した毎日を送っていますが、願わくば卒業後20年近く会っていない同級生たちと再会できる同窓会があればと思います。52回卒のどなたか企画してください（笑）

JR九州 営業課長

高45回卒　**鷹野　恵一**さん

「鉄っちゃん」

平成5年卒の鷹野恵一です。

八高卒業後、九州大学経済学部を経て、その後、九州旅客鉄道株式会社（JR九州）に入社し、現在、20年以上が経過しました。

入社後は、駅員や車掌など鉄道の現場での仕事を経験し、現在は本社の営業部営業課という部署で、割引きっぷを作ったり、観光列車（弊社ではD&S列車と呼んでいます）の盛り上げ施策を検討したり、収入を稼ぐためのCMを作ったりと、鉄道まわりの多岐に亘る業務にあたっています。

鉄道会社に入った私が言うのもどうかと思うのですが、九州における鉄道の地位は非常に低く、高速道路が整備され、今後もどんどん整備が進む中、非常に厳しさを増していくと想定されています。

今後、更なる人口減少・少子高齢化の進行、もっと言うと高齢者の自家用車の運転に関する諸問題が明るみになる中、私たちは改めて鉄道での移動の快適性、鉄道旅の面白さの発信に努めていかなければならないと考えています。

最近の仕事では、ミッキーマウス・ミニーマウスと組んでラッピング新幹線を運行したり、地元の方々からの協力をいただいきながら様々な観光列車を運行させたり、くまモンとコラボした動画（「熊本フォーリンラブ」でWEB検索してください！）を作ったりと、鉄道を通じて私たちが住む九州の発展に少しでも寄与できたらと思い、日々奮闘しています。





我が故郷、八代にも「SL人吉号」、「かわせみやませみ号」、「いさぶろうしんぺい号」と、3本の観光列車（D&S列車）が走っています。是非、皆さん一度乗車してみて、列車旅の素晴らしさを体感してみてはいかがですか！

気象予報士

高57回卒　**早田　蛍**さん



気象予報士として社会に貢献したい

みなさん、こんにちは。気象予報士の早田蛍です。現在、子育ての傍ら、3年ほど前から主に九州で気象や防災に関する講演・講習、お天気教室や気象アドバイザーを行なっています。

高校時代の私は恥ずかしながら不真面目で赤点・補習の常連という高校生活を送っていました。高校に入学した時点で目標を失っていた私はもちろん大学受験にも失敗し、その後働いていた時期に自分を見つめ直し、やりたかった気象予報士になるために卒業から3年後大学を再受験しました。大学入学後は丸4年勉強して、気象予報士の資格を取ることができるのですが、ここから予報士としての仕事をするまでに4年ほど時間が空きます。（笑）

そんなこんなで紆余曲折ありましたが、現在は様々な出会いがあり、気象予報士として仕事をさせていただいています。気象予報士というと、予報や気象キャスターを思い浮かべる方が多いと思いますが、現在私が主に行なっているのは気象や防災の知識を広める普及啓発活動です。

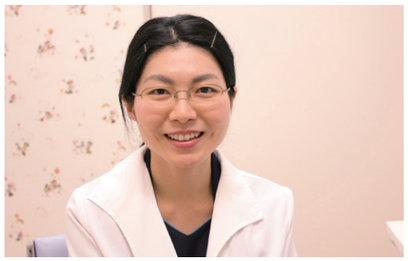
昨年、西日本を中心に広い範囲で被害をもたらした「平成30年7月豪雨」では、予報により事前に危険性がわかり、メディア等で気象キャスターが寝る間を惜しんで危険を伝えても人々の避難につながらず平成最悪の大雨災害の被害になりました。このような状況を変えるためには、人々にもっと気象や防災情報の意味や使い方を知ってもらい、命の危険が迫っているときには必要な行動とる、ということを気象予報士として小さいコミュニティから地道に伝えていくことだと痛感しました。



先を見ると気が遠くなりそうですが、今目の前にあるものと真剣に向き合いながら進んでいるところです。そして先日2019年6月にこのような活動が評価され、（一社）日本気象予報士会の石井賞を受賞しました。これも一緒に活動してきた周りの仲間たちや、応援してくれる方々や家族のサポートのおかげです。これからも気象予報士として社会貢献できることは何かということを考えながら、引き続き活動を続けていきます。

熊本労災病院 小児科医師

高56回卒　**松石　芽衣**さん



小児科医として地域医療に携わりたい

経歴　八代高校平成16年卒。佐賀大学医学部入学。卒業後、大学で2年間研修を行い、平成25年に熊本へ。その後、熊本県内、宮崎県内で勤務。

芦北町田浦出身です。現在、八代で小児科医として働いています。数年で職場異動がある中で、ご縁があって八代で働くこととなりました。日頃は、赤ちゃんから中学生くらいまでのお子さんと接しています（時々、当番で大人の方も対応します）。会う度に、すくすく大きくなる姿や、考えが大人びていく姿を見ると、私も年を取ったなあと感じる次第です。昔、祖父母の言っていた言葉が身に沁みます。

一言に小児科医と言っても、働く場所や立場によって、仕事内容は変化します。小さい赤ちゃんを専門にする人、心臓や腎臓、アレルギーなど、各分野を専門にする人、健診や予防接種を行う人など、様々です。今働いている場所では、軽度から中程度の病気の方、一般的な病気の方を中心に診ています。

医療というと、皆様どんなイメージをお持ちでしょうか？　あまり良くない印象の方も多いかも知れません。高校生の頃の私は、漠然としたイメージしかなく、それこそ近所の開業医の先生くらいしか知りませんでした。家族共々、大変お世話になりました。しかし、働き始めるとかなり変化しました。治療して治る病気もあれば、付き合っていく病気も多いこと。教科書には書いていないこと。どんどん学ぶことばかりでした。体や頭がついていかず、苦労することもしばしばです。自分一人では患者さんを助けられず、常に多職種の助けが必要となります。研究や教育、行政、保健の分野など、目に見えない恩恵の中で今の仕事ができていると感じています。

今後も様々な場所で働くと思いますが、その土地の地域医療に携わることができれば幸いです。



地球環境回復を目指して

自然栽培稲作農家
高24回卒　**稲本　薫**さん（66歳）
サッカー部ＯＢ会会長



私は１９６９年の八高入学です。卒業後に県果樹園芸講習所（現県立農大）で２年間みかん作りの勉強をしました。ここで受けたある先生の脱線授業が、その後の私の人生の生き方のきっかけになったのです。

その授業とは、玄米の皮の「糠」は何と読むか、答はヌカです。では、その玄米から糠を取った「粕」は何と読むか、カスです。先生は「残念ながら白米を食べている君達は貴重な米を、粕にして食べているのですよ」この言葉がずっと脳裏に焼きついて、卒業後の24歳の年に一番狭い10ａの水田で、まずは自家用の玄米を肥料、農薬、除草剤等を全く使わない方法で作り始めたのです。

ここからの約10年間は、特に草取り等大変きつい作業で、ずいぶん苦労もしました。現在10ヘクタールまで、頑張って規模拡大してきました。

実はこの42年間の自然栽培の米作りの取り組みを、縁あって熊日新聞の「私を語る」というコーナーで、平成30年の10月27日から11月30日まで35回の連載をさせて頂きました。

そして更にこの連載を、熊日出版社から「自然栽培の米作り、一年目から農薬いらない」というタイトルで本として出版させて頂きました。私の半生と地球環境に対する熱い思いと、42年間で作り上げてきた誰でも真似出来る技術論を、心を込めて書きました。

私が常に発信している最大の論点は、46億年という膨大な時間で出来た地球の自然環境と土と生物多様性を、農業分野ではたった薄紙一枚位の百年という超短い時間で、人類は壊してきたということです。



私は、実践してきた自然栽培で農業経営、食糧確保の両面で確実に社会的にも実績レベルに達しています。後は、周りの農家、消費者、社会全体に認知されて広める為に、様々な問題はありますが真剣に取り組んでいこうと思っています。

因みに私の自然栽培の本は、アマゾンで購入できます。

八高同窓会の皆様、八高卒の数少ない百姓の拙い文ではありますが、ネイティブアメリカンが言った、七代先の事を考えて行動するという地球環境回復への強い想いを読んでいただいて、共有していただけたら幸いです。

山岳部ＯＢ会

高21回卒　**福田　道博**さん

高校を卒業して50年も60年も経っているのに、高校時代の山岳部の仲間と、時に山に登り、時に酒を酌み交わすのは幸せなことだと思う。18歳だった青年は今や60代後半から80歳を目前にしている。それでもこうして集えるのは、山登りが年をとってもできるスポーツだからかもしれない。野球やサッカーは60歳や70歳では無理なスポーツである。

山岳部ＯＢ会は、春にはアケボノツツジを求め、秋には深山の紅葉を求め、夏には高山に涼を求め、冬には白い雪を求めて山に登ってきた。

屋久島の宮之浦岳にも登り、大崩山にも登り、高千穂縦走もした。それぞれに思い出は尽きない。屋久島ではＯＢ会の年長の先輩が階段から落下されひやりとした。夏の久住山に登り下山したときに、ヒュッテの奥さんが庭先で生ビールをジョッキで飲ませてくれたこともあった。この時のビールはうまかった。これからも山や酒を楽しみながら、昔の仲間とのＯＢ会を続けていきたい。





熊川みゆさんデビュー（高71回卒）

今年の3月に八高を卒業し、慶応大学法学部に入学した熊川みゆさん。シンガーソングライターとしてこの春デビュー。勉学と歌手活動と忙しい彼女にこれからの抱負をお聞きしました。

質問1　4月に上京されてからの生活はいかがですか?

私は生まれてから人生のほとんどを八代で過ごしてきたので、東京での生活は本当に新しいことばかりで刺激的です。まだ上京して4ヶ月くらいですが、なんだか留学しているような気分です。(笑)

毎日毎日が濃くて、時間がすごくはやく感じます。

人の多さにはまだ慣れませんが、いろんな個性や考えが溢れていて、すごく面白いし、勉強になることばかりです。とても楽しんでいます。

質問2　現在どのような活動をされていますか?

現在は大学に通いながら、音楽活動を行っています。

月に2、3回ライブをしたり、レコーディングを行ったり、ラジオに出演したり、多くの方に聞いてもらうために奮闘中です。

最近で一番緊張したことはオールナイトニッポン0に出たことです。

質問3　東京で本格的に活動をしてみた感想は!?

八代での音楽活動と東京との一番の違いは、大きな会場やイベントが東京には沢山あるので、様々なアーティストさんと話ができたり、吸収させてもらえる機会が増えたことです。

東京で活動をしていくうちに、少しずつ曲を聴いてくださる人が増えてきて、有難いと思うことばかりです。これからもっともっと活動の幅を広げていけたらと思います。

質問4　今後、どんなアーティストになっていきたいですか?

まず熊本のB・9というライブハウスでワンマン凱旋ライブをすることが目標ですが、最終的には武道館でライブをするのが夢です!!

ライブに来てくれる方、曲を好きになってくれた方と一緒に音楽を楽しんでいくようなアーティストになりたいと思っています。

質問5　八代高校とはどのような場所でしたか? 後輩にひとことお願いします。

八代高校はとても自由で、個人のいろんな可能性を引き出してくれる場所だと思います。

やろうと決断することができたら応援してくれる先生方や友達が沢山いるし、楽しいことが大好きな学校だなといつも思っていました。

私の周りにも努力している友達が多くいたので、すごくいい影響を高校時代に受けることができました。先生方にも感謝ばかりです。

八高生のみなさまにはとにかく3年間好きなように楽しんで、青春してほしいと思います!!



熊川みゆ プロフィール

八代一中出身。この春八代高校を卒業。現在慶応義塾大法学部一年。

八高時代に「あの日の夢を」でデビュー。大学在学中の傍ら、ミュージック配信やロックフェスティバルに参加。代表作に「夜の舞踏会」「new world」「Ancient story」など。「Ancient story」のミュージックビデオにはふるさと八代の風景や八高時代の友達との交遊が描かれています。本年7月には「フジロックフェスティバル」、10月には熊本城ホールにてEXILE MAKIDAIさんらと「TKU SPECIAL LIVE」に出演。今後の活躍が期待されています。

熊川みゆ（@kumamiyu2018）：Twitter

熊川みゆ公式サイト
kumamiyu.com

Ancient story ミュージックビデオ（YouTube提供）



2019年3月10日両国国技館で行われたライブイベント［TOKYO GUITAR JAMBOREE］では、あいみょん、井上陽水、斉藤和義、秦基博らが出演するなか、オープニングアクトに大抜擢される

本村 祐成さん(高1年)

八高NOW

八高・八中合唱部

ロボットオリンピック出場

僕は、昨年、八代中学3年の時に、タイで開催されたWROワールドロボットオリンピアードに日本代表中学生チームの一人として参加しました。WROとは自立型ロボットの競技会で、70ヶ国以上の国の小学生から大学生までが、ロボットを製作し、テーマに沿った動きと、スピードを競うコンテストです。

僕がこの競技を始めたのは小学5年生の時に、八代にある宮嶋財団でロボット教室に参加したのがきっかけです。その後クラブに入り、レゴブロックで組み立てたロボットにプログラムを載せ、思った通りに動くととても楽しく、プログラミングや工学の基礎を学ぶことができました。



毎年WROの予選大会に参加していましたが、大会前までは高確率で完走していたロボットが、当日になると思わぬところで止まるなどして、全国大会へ進むことは出来ませんでした。昨年は、自分はロボット本体の組立に集中することで精度を上げ、初めて全国大会に出場することになりました。

初の全国大会に向け、さらに作りこみ、ほぼ満点に近い状態で完走し、全国2位で世界大会にも参加できることが決まり、とても嬉しかったです。

しかし、世界大会では、スピードを上げるために設計を変えたことで制御が難しく、惨敗でした。また、世界のチームは役割分担がはっきりとは分かれておらず、チームメイトと技術を共有できることで対応が早かったので、チーム内でお互いが技術を上げることが必要と感じました。今回の失敗をばねに次は世界大会でも上位を狙えるようにしたいです。



全国大会出場を目指し頑張っています

八高・八中合唱部からの報告です



こんにちは、八代高校・中学校合唱部です。現在、合唱部は高校生16人、中学生16人で活動しています。主な活動内容は、地域のイベントへの参加、学校行事での演奏です。また、夏と冬のコンクールには、クールサンクという合同合唱団として県内6校の高校と出場しています。この合同合唱団は、5年前に八代高校・中学校と熊本中央高校が合同を始めたことをきっかけに、4年前に済々黌高校、3年前に鹿本高校、学園大学付属高校・中学校が加わり、クールサンクとしての活動が始まりました。そして、今年からは御船高校も加わり、計6校での合同合唱団となりました。1年目は20人ほどの合同合唱団でしたが、年々人数が増え、今では80人を超える団員がいます。普段は各校での練習となり、全員で歌うのは月に数回行う合同練習です。全員揃っての練習が少ないため不安はありますが、その反面、合同合唱団でしか味わうことの出来ない合唱が出来たり他校の生徒と交流することが出来たりするので、本当に楽しい部活動生活を送っています。これまでの大会実績は、全国総文に2年連続出場、九州合唱コンクールに6年連続出場、2年前には全日本合唱コンクール全国大会に出場しました。昨年は全国大会出場という目標を達成することが出来ず、とても悔しい思いをしました。今年こそは、その目標を達成出来るように頑張ります。応援よろしくお願い致します。



第43回全国高等学校総合文化祭に熊本県代表として出場

古川 大晃さん(高66回卒)

九州大学人間環境学府修士1年

大学生紹介

上川 桂南恵さん(高68回卒)

東京芸術大学3年

マラソン2連覇 ― 見えてきた将来



「面白そう!」こんな単純な思いで、大学1年生の時にエントリーした「熊本城マラソン」、まさかそれが自分の将来に繋がるとは考えてもいませんでした。

出場者1万2千人のランナーの中でトップをとる事を信じ、ワクワクして臨んだ1年目。しかし結果は9位。大会を楽観視し、練習量が足りていなかった事を痛感。そこで2年目は、マラソン前2か月間、毎日20km走ると決めました。でも結果は2位でした。そして3年目。20キロから25キロへ練習量を増やし、ついに念願の1位を取ることができました。2連覇を狙う4年目は、練習量を30キロと決めました。卒論、バイトと、時間的な兼ね合いから大変さも感じましたが、継続することができ、2連覇に繋げました。



4年間のマラソンへの挑戦は、私自身にも変化をもたらしました。自分のアイデンティティーの確立ができた事により、人の話に耳を傾け、自分と異なる考え、そして他の人の素晴らしい点を素直に受け入れる事ができるようになりました。将来も大きく変わりました。熊本大学進学時は考えてもいなかったスポーツ科学ですが、毎年マラソンへ挑戦していくうち、ランニングをする際に起こる身体の応答についての研究に興味が湧き、この4月から九州大学大学院スポーツ科学・生理学系の研究室に進学しました。

将来的には、研究者としては、関わる人の興味を満たせるようになること、世界の知見の集積を進歩させることを目標としています。そして競技者としては、日本や世界中のマラソンに挑戦し、様々な景色、人との出会いを楽しみたいと考えています。

深く考える事もなく飛びこんだマラソンの世界。何がきっかけで人生の彩が深まるかわかりません。高校生の皆さん、ぜひ臆することなく色々な事に挑戦し、自分の琴線に触れるものを探し求めてください。

私も来年「熊本城マラソン3連覇」に挑戦します! 応援よろしくお願いします。



夢は熊本現代美術館で個展を開くこと

八高出身の美術家かなえさんに緊急インタビュー



2018年、成人式でかぶったかつらには、山鹿灯篭や晩白柚も。

Q：かなえさんこんにちは。

― こんにちは！

Q：近年では、成人式での“熊本愛”溢れる全身手作り衣装、熊本ヴォルターズ復興試合にてUnderArmor社とデザインコラボなど、ご活躍をみましたよ。

― ありがとうございます。

Q：かなえさん、大学では何をされているのですか。

― アイディアと行動力を伴い、絵を中心にさまざまなメディアを横断し、既存の枠に囚われず作品制作をしています。

Q：どんな作品を作られるのですか。

― 作品では故郷のモチーフが多く、モチーフに全身で憑依しながら制作しています。現在、八代のタウン情報誌「かじゅめる」の連載コーナーにて作品等も掲載中です。

Q：なぜ美術をされているのですか。

― 生まれた時からつくることが大好きで、自分の気持ちに対して心の底から素直に楽しく表現できるからです。

Q：次はいつ熊本に緊急来熊されるのですか。

― 作品を沢山ひっさげ画材の羽、生やして来熊します。10年以内に熊本現代美術館で個展します。

Q：最近、八代中・八代高校に教育実習に行かれたそうですね。

― はい、八中生・八高生、グローバルに勉学に励んでいました。先生という立場で母校に行き新鮮でした。

Q：かなえさん、最後に一言。

― 毎日、画材や色に囲まれ制作を頑張ります。



熊本城を描いた着物。
全てかなえさんのデザイン、手作り。
熊本愛に溢れる作品です。

母校だより

八代高等学校・八代中学校部活動報告

今年の高校総体の熊本県大会は、団体で弓道男子が準優勝、女子バレーボールが5年連続のベスト8、女子バドミントン、女子テニスもそれぞれベスト8に進出しました。それ以外の部活動でも全力を尽くしたプレーを見せてくれました。授業やテストの準備に時間を注ぎながら、限られた練習時間を有効に活用し、生徒諸君は毎年本当に素晴らしい結果を残してくれています。

さらに、今年も陸上部、水泳部等は南九州大会や九州大会にも出場を果たし、その上位大会であるインターハイに出場した生徒もいます。

以下にその結果を掲載します。



南九州大会



［陸上部］
男子110mH　林田（3年）　4位
女子400m　亀山（3年）　4位
※2名はインターハイ出場

九州大会

［水泳部］
男子200m自由形　冨山（2年）　43位
男子100m平泳ぎ　隈部（2年）　19位
男子200m平泳ぎ　隈部（2年）　20位
女子50m自由形　中本（1年）　41位

［弓道部］
男子団体　九州大会予選敗退

［空手道部］
個人型　宮坂（1年）　九州大会初戦敗退



次に中学校の熊本県大会の結果を掲載します。県大会への出場は八代郡市大会の上位者になります。

中学校県大会

水泳100m男子平泳ぎ
隈部（2年）　1位
水泳男子200m平泳ぎ
隈部（2年）　1位
※九州大会出場
水泳女子4×100mメドレーリレー
松岡（3年）・奥村（3年）・
萩嶺（2年）・真野（2年）　3位
水泳女子200m背泳ぎ
萩嶺（2年）　3位



文化系部活動の結果です。文化系部活動も見事な活躍を見せてくれました。

第66回NHK全国高校放送コンテスト 熊本県大会

［放送部］
ラジオドキュメント部門　2位
テレビドキュメント部門　3位
※全国大会出場



［合唱部］

第74回九州合唱コンクール 熊本県予選

八代高等学校・八代中学校
クール・サンク　金賞
※九州大会出場

第43回全国高等学校総合文化祭 さが総文合唱部門

八代高等学校・八代中学校
クール・サンク　文化連盟賞

その他の活動でも頑張っています。

WRO JAPAN2019 熊本地区大会

中学校部門エキスパート競技
チームかまめし
泉（2年）
青少年ロボット優秀賞

今年も文武両道を見事に果たしくれました。今後も様々な分野での生徒の活躍を通じて、全国の同窓生の方々へ元気を発信して参ります。どうぞ応援の程よろしくお願します。

昨年度もたくさんの生徒が「知の触発プログラム」、「グローバル・アクション・プログラム」に参加し、自分自身の可能性を見つけ、高めています。

■めざまし LIVE COUNTRY TOUR in YATSUSHIRO ～熊本地震復興祈願～

（主催：八代市・フジテレビジョン）

4月14日㈰に八代厚生会館において、「めざまし LIVE COUNTRY TOUR in YATSUSHIRO」が開催されました。

■〝届けよう、服のチカラ〟プロジェクト

（生徒自主企画）

このプロジェクトは、子どもたちが主体となって、着なくなった子ども服を回収して、難民の方々など世界中で服を本当に必要としている人々に届ける活動です。衣料品企業の方を講師に招き実施した出張授業をきっかけに、それに感銘を受けた約30名の生徒たちが、実行委員会を立ち上げ取り組みました。実行委員長・副委員長を中心に、定期的に話し合いをしながら企画を進め、外部とのやりとりも自分たちで行いました。壁新聞の作成、図書資料の展示、ポスターの作成、キャッチフレーズ（子どもSMILE）の発案と使用、生徒たちの思いを掲載したチラシの作成と配付など工夫を凝らした活動になりました。また、地域のイベントとの連携、ラジオ番組への出演などもあり、生徒たちは出会いの感動と「つながる」ことの喜びを感じることができました。



■「EUがあなたの学校にやってくる」講演会および意見交換会



11月15日㈭にアンスティチュ・フランセ九州（フランス大使館）館長のテュルズ・ダヴィッド氏を講師にお招きし、「EUがあなたの学校にやってくる」が行われました。7限目は体育館での全体会を行い、EU結成の歴史を始め、EU加盟国内で用いられる公用語、通貨、人口など、EUについての様々な疑問点が理解できるように丁寧にご講演していただきました。その後、会場を移し、約50名の生徒が参加して意見交換会を行いました。フランスやEU諸国について、生徒からたくさんの質問が上がりましたが、ひとつひとつ分かり易く答えていただきました。会は終始、アットホームな雰囲気で進み、最後は、フランス式授業の終わり方で、テュルズ氏が教室を後にしました。今回は、希望者による生徒スタッフが運営を務め、司会や誘導、おもてなしなど積極的に行い、活躍してくれました。

■「東京大学を見に行こう」東京大学オープンキャンパス研修

（主催：本校進路指導部）

夏休み期間を利用した東京大学OC研修に中学3年生3人と高校生8人が参加しました。初日は本校卒業生で現役東大生である、後藤さん、岩崎さんと合流し、大学院総合文化研究科堀田知佐准教授の研究室を見学、また、鉄緑会の講師の方の講話を聴きました。2日目、3日目は東大オープンキャンパスに参加し、模擬講義を受講、充実した研究施設を目の当たりにし、東大への興味関心がより高まりました。



■八高OB航空関係者 座談会「若者よ、大空を語ろう！」

平成31年3月28日、八高OB航空関係者座談会「若者よ、大空を語ろう！」が開催されました。この企画は、後輩の進路選定の一助になればとの想いから、八高卒のパイロット・CA・航空管制官の方々にお声かけして、八高が掲げる「グローバル人材育成」に資するとの判断で実現しました。

関西同窓会会長の宮崎正郎CAPは、長年に渡り、航空界情報の月刊誌を母校図書室に寄贈され、現在も同じ「道」に進んだ後輩により寄贈が続いております。航空会社のパイロット訓練でも教官・訓練生が八高の先輩・後輩という例は珍しくなく、世代を超えた八高生の「絆のバトン」は脈々と引き継がれています。

航空界に関心のある後輩が、目を輝かせながら熱心にメモをとる姿に頼もしさを感じ、「絆のバトン」が引き継がれていくことを確信した座談会となりました。

（座談会企画担当 高30回卒 吉松聖也）







野球部　3年連続ベスト8以上進出
マネージャー武澤さん始球式の大役

第一〇一回 全国高等学校野球選手権熊本大会

すべての県大会に出場し、NHK旗ベスト4、秋、春の県大会ベスト8、そして、第8シードとして参加した今大会もベスト8の成績でした。これで夏の大会は一昨年のベスト4、そして昨年と今年でベスト8と、三年連続でベスト8以上の結果を残しました。各試合結果は以下の通りです。

1回戦▼対 水俣高校 戦
八代 4 − 3 水俣
（延長10回サヨナラ）

2回戦▼対 小川工業高校 戦
八代 5 − 0 小川工業高校

3回戦▼対 人吉高校 戦
八代 2 − 1 人吉高校

準々決勝▼対 有明高校 戦
有明高校 9 − 1 八代
（7回コールド）

また、抽選の結果、開会式直後の第1試合では、マネージャーの武澤直穂さんが、始球式の大役を任されました。

「大変緊張しましたが、練習の空き時間に選手が投げ方を教えてくれたりして、楽しく投げることができました。一生の思い出になります。」と話していました。



サッカー部OB会
70周年記念講演開催

平成31年2月5日㈫、技術棟2階学習室において、本校サッカー部OB会70周年記念講演として宇城市教育長・大津高校サッカー部総監督平岡和徳氏をお招きし、サッカー部員に対して「凡事徹底『24時間をデザインする』」というテーマで講演をしていただきました。夢を持つことの大切さや感動する心、感謝する心を備えることが自分の成長を加速させる等わかり易い言葉で、なおかつユーモアを交えながら熱弁され、生徒達は多くの示唆を得た様子でした。



年会費「今ここにある危機」問題

年会費は、会報「道」の講読料ではなく、八高同窓会を支えていくためのもので、その財政状況が「危機」に陥ろうとしています。



■八高同窓会の目的とこれまでの歩み

同窓会の目的

「八高同窓会は会員相互の友誼を厚くし、その教養を高め、母校との連絡を密にして且つ母校の発展を以て目的とする。」
（同窓会会則第2条）

主な活動
- 同窓会入会式
- 同窓会会長賞
- 卒業記念品
- 教育活動への助成
- 教育振興基金の運用

同窓会活動の広がり

年会費の徴収と同窓会報の発刊を通じ、同窓会活動が広がりました。
- 全国11地区同窓会の成立
- 学年同窓会活動の活性化

同窓会によるこれまでの教育助成


吹奏楽部の楽器購入



オーストラリア
語学研修派遣

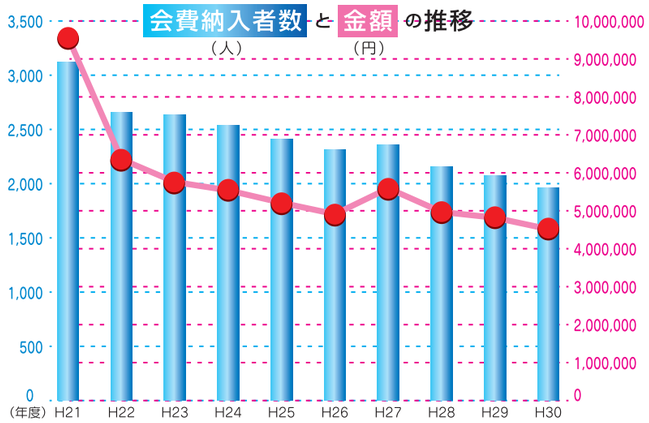


- 吹奏楽部の楽器購入
- オーストラリア語学研修派遣
- 世界ディベート大会への派遣
- 東大・京大などへの訪問
- その他『教育関係器具』『施設』の充実支援
- 周年事業への助成など

これから羽ばたいていく若き後輩たちのために、教育助成も行っています。

同窓会の財政状況

このままでは同窓会活動が先細り
- 生徒の減少、及び年会費納入の減少



さらなる母校への支援を継続するために、あなたにもできる3つのこと

1. 年会費の納入
2. 寄付金　個人でも学年や地区同窓会でも、毎年行われています。
3. 熊本県への〝ふるさと納税〟で「夢教育応援として八高を指定」されると、**半額が**八高に贈呈されます。

注 今年から払込方法が変わります！

払込用紙が、郵便局、コンビニで異なります。
郵便局用は**青**、コンビニ用は**赤**になります。
郵便局での払込の際は**払込手数料**をご負担願います。
コンビニでの払込の際は**払込用紙に手数料込みの金額が印字**してありますので、その金額をお支払いください。

平成30年度 八代高校同窓会会計 決算書	
収入の部	5,878,217円
支出の部	7,455,138円
前年度繰越金	18,885,669円
次年度繰越金	17,308,748円
年会費振込者総数	1,982人
総金額	4,466,000円

令和元年度 八代高校同窓会会計 予算書	
収入の部	6,400,000円
支出の部	8,790,000円
前年度繰越金	17,308,748円
次年度繰越金	14,918,748円

2019年度同窓会行事予定（2019.4.1〜2020.3.31）

2019年

4月20日㈯　東海同窓会総会　「名古屋クラウンホテル」にて
5月10日㈮　第1回正副会長会　2019年度行事、事業について
5月31日㈮　第2回正副会長会　理事会議案について
6月 1日㈯　関西同窓会総会　「太閤園」にて
6月 2日㈰　岡山同窓会総会　「ホテルグランヴィア岡山」にて
6月15日㈯　会計監査
6月29日㈯　八代高校教育振興基金運営委員会　教育助成等審議
　　理事会　総会議案審議（予算案を含む）
7月 6日㈯　福岡支部総会　「八仙閣」本店にて
8月 2日㈮　第3回正副会長会　同窓会総会運営について
8月24日㈯　同窓会総会　「八代ホワイトパレス」高37回担当
9月 7日㈯　関東地区同窓会総会　「上野精養軒」にて
9月27日㈮　第4回正副会長会　同窓会報について
9月28日㈯　広島県同窓会総会
9月29日㈰　山口県同窓会総会
11月15日㈮　同窓会報「道」第11号発行
11月17日㈰　鹿児島県同窓会総会　「ホテルタイセイ」にて
11月23日㈯　八代妙見祭　飾馬奉納
12月 6日㈮　第5回正副会長会　同窓会報、同窓会入会式について

2020年

2月 1日㈯　長崎地区同窓会総会
2月 7日㈮　第6回正副会長会　同窓会入会式について
2月29日㈯　同窓会入会式　2019年度卒業生（高72回）

個人情報の取り扱いと保護について
（八代高等学校同窓会個人情報保護基本方針）

1．八代高等学校同窓会における個人情報の定義
個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、住所、電話番号、勤務先・在学校名、勤務先電話番号、最終学歴等の情報を指します。
また、これらの情報のみでは識別できなくとも、複数の情報を組み合わせることにより個人を識別できる情報も含みます。

2．個人情報をご提供いただく場合について
八代高等学校同窓会で個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。
（1）同窓会事務局から同窓会会員へ直接依頼する場合
（2）同窓生や家族から同窓会事務局に間接的にご連絡いただく場合
（3）同窓会会員から同窓会事務局に直接ご連絡いただく場合

3．個人情報の管理について
八代高等学校同窓会では、個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏洩または再提供（「5．第三者への情報提供について」に記載する場合を除きます）などの無いように、適切な管理を実施いたします。

4．個人情報の利用目的について
ご提供いただいた情報は秘密扱いとし、同窓会会員の管理、および同窓会員名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。

5．第三者への情報提供について
八代高等学校同窓会では、ご本人の同意を得た場合以外は、同窓会会員以外の第三者に提供を行いません。
ただし、警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく手続きにおいて照会を受けた等法令に基づく場合や、会員の行為によって同窓会会則等に反し同窓会の権利や財産等を保護するため必要と認められる場合、および人の生命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合は除きます。

6．個人情報管理責任者の配置について
個人情報を取り扱う責任者を置き、適切な管理を行います。

7．法令等の遵守・個人情報保護方針の改定
八代高等学校同窓会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。
八代高等学校同窓会では、日本国における法令等の変更に合わせるため、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定させていただくことがございますので、定期的に個人情報保護方針のご確認をしていただきますようお願いいたします。

平成24年8月25日
熊本県立八代高等学校同窓会

なお、可能な限り、適切かつ迅速な処理を努めますので、個人情報に関する開示の申し出、苦情、相談等は事務局までご連絡ください。

八代高等学校同窓会事務局（八代高等学校内）
TEL 0965-33-4138　FAX 0965-35-8463
（直通）080-2743-9712
連絡用メールアドレス　85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

寄付を頂きました。ありがとうございました。有意義に使わせていただきます。

2018年度	1	高28回生	¥100,000
	2	高22回生(楠田、原田、辻の３氏)	¥60,000
	3	高36回生(大同窓会当番学年)	¥150,000
2019年度	1	からいも会(高3回生)	¥54,096
	2	高14回生	¥100,000
	3	大同窓会時匿名の方々	¥104,000
	4	高5回上原桂子様	¥10,000
	5	高37回生(大同窓会当番学年)	¥150,000

■八代高校関東地区同窓会
会　　長　勝井梅子（高21回）
事務局長　後本一幹（高21回）
事務局所在地　〒207-0013 東京都東大和市向原3-900-23　後本一幹税理士事務所内
TEL 042-563-9218　FAX 03-6369-3461
定例総会　毎年9月の土曜日　東京都内の会場で開催

■八代高校東海同窓会
会　　長　坂田孝之（高18回）
事務局長　岩崎健作（高23回）
事務局所在地　〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24 ライオンズビル第2丸の内705　岩崎健作方
TEL 052-204-1945　FAX 052-204-1943

■八高関西同窓会
会　　長　宮崎正郎（高14回）
事務局長　新村　守（高49回）
事務局所在地　〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目9-3 アールビル本館7階　弁護士法人村上・新村法律事務所　新村守方
TEL 06-6316-8364　FAX 06-6316-8368
定例総会　毎年6月の第1土曜日、大阪市内の会場で開催

■八代高校岡山同窓会
会　　長　久保田壽一（高18回）
事務局長　江村清二（高20回）
事務局所在地　〒703-8262 岡山市中区福泊11-118　江村清二方
TEL 086-276-8050

■八代高校広島県同窓会
会　　長　片山茂光（高19回）
事務局長　村田栄治（高28回）
事務局所在地　〒738-0036 廿日市市四季が丘4-6-14　村田栄治方
TEL 0829-88-9211（Fax兼用）

■八代高校山口県同窓会
会　　長　山下鐵洋（高14回）
事務局長　中村裕子（高21回）
事務局所在地　〒755-0151 宇部市西岐波村松402　中村裕子方
TEL 0836-51-1046

■八代高校同窓会福岡支部
会　　長　辻本　章（高18回）
事務局長　礒部和之（高23回）
事務局所在地　〒811-1346 福岡市南区老司2-23-80　礒部和之方
TEL 092-565-2232
定例総会　毎年、7月第1土曜日、博多祇園山笠にあわせて実施　福岡市内の会場で開催

■八代高校同窓会熊本市支部
会　　長　中西雄一（高20回）
事務局長　坂田雅孝（高24回）
事務局所在地　〒861-4172 熊本市南区御幸笛田4-11-5　坂田雅孝方
TEL 096-379-0852
定例総会　隔年10月の土曜日　熊本市内の会場で開催

■八代高校大分同窓会
会　　長　草柳英一郎（高12回）
事務局長　松本宏次（高15回）
事務局所在地　〒870-0848 大分市賀来北1丁目2-40　松本宏次方
TEL 097-549-3386

■八代高校鹿児島県同窓会
会長　福山成美（高10回）会長事務局兼任
事務局所在地　〒891-0144 鹿児島市下福元町7480-5　福山成美方
TEL 099-261-7739

■八代高校長崎地区同窓会
事務局　德永哲郎（高27回）
事務局所在地　〒852-8126 長崎市石神町39-41 德永哲郎方　TEL 095-844-6106

■ 八高41回（1989年／平成元年）卒 同窓会のご案内
日時：令和2年1月2日㈭
会場：エルセルモ八代　アルデア アルカサール
問い合わせ先：松本邦彦 090-7399-1398
ご参加お待ちしております。

■ 八高30回卒 還暦同窓会のご案内
日時：令和2年5月23日㈯
⑴ 11時：八代高校集合、校内見学、写真撮影
⑵ 13時：セレクトロイヤル八代にて宴会
⑶ 18時30分：人吉「あゆの里」にて宴会
※(1)(2)(3)どこから参加してもどこで抜けてもOK!
問い合わせ先：米本直美 0965-43-7373

■ にいなな会 米寿祝ご案内
日時：令和2年6月1日㈪ 12時30分
会場：セレクトロイヤル八代
会費：7,000円
問い合わせ先：垣田照子 0965-33-7071
石坂直行 0965-34-6836（不在の時は留守電へ）

■ 八高31回卒 還暦同窓会のご案内
日時：令和2年9月20日㈰ 午後6時～
会場：エルセルモ八代　アルデア アルカサール
問い合わせ先:実行委員長 山口秀美 090-2511-5217

■ 八高22回卒 古希同窓会のご案内
日時：令和2年11月22日㈰
会場：セレクトロイヤル八代
※後日詳細を記載した案内状を発送予定です。
問い合わせ先：古閑雄一郎 090-8397-1587

住所変更時の連絡のお願い

住所を変更されましたら、事務局までご連絡ください。

連絡先　〒866-0885 熊本県八代市永碇町856
熊本県立八代高等学校同窓会
TEL 0965-33-4138　FAX 0965-35-8463
事務局直通 080-2743-9712

メールアドレス　85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

同窓会ホームページからも住所変更の手続きができます。
ホームページアドレス
http://www.hachiko-dosokai.com/index.htm

2019年 編集後記 「座右の銘」編　今回は広報委員の皆さんに「座右の銘」を聞いてみました。



46回 松永正大
情けは人の為ならず
ベタですが、自分に厳しくなろうと思っています。



45回 内野裕子
ケ・セラ・セラ
今を大切に、前向きにおおらかに。



36回 江崎博美
一事が万事
小さな事にも手を抜かず、丁寧に生きていきたいと思います。



30回 米本直美
克己
あすなろ物語から「克己」です。小学校から変わっていません。でも未だに自分を甘やかす事においては天下一品です。



25回 岡村洋文
明るく楽しくおめでたく
何の重みも味わいもありませんが、この言葉が大好き。また、明石家さんまの「生きてるだけでまるもうけ」も好き。



28回 広報委員長 一親房
One for all All for one
ひとりはみんなのために、みんなの力で一つの目的を成し遂げよう！ ラグビーW杯よ、最高の感動をありがとう。



69回 桑原温乃
くよくよしてもしかたがない。どのみち予想したとおりにはならないのだから。
色々な活動をする中で、人も物事も想定通りには動かない方が当然なのだと思えてきて、できることはどんな事態をも受け入れる器を広げることなのかなと思っています…予想外を楽しめるようになりたい！



57回 早田　蛍
真摯
何事も真摯な態度で臨んで行こうと考えています。



55回 高見聡一郎
為せば成る 為さねば成らぬ 何事も
その後に続く、言葉も身に沁みます…



52回 柴崎政俊
無為自然
作為がなく自然のままの自分でありたいと願うのです。



49回 成尾善明
all is well
インド映画「きっと、うまくいく」を見て以来、そこに出てきたのを座右の銘にしています。生涯楽天家かな。